

誰でも  
簡単!

集客力を高めるのぼりを作る!

# のぼり作成講座

Powered by

MAXART  
マックスアート



路地裏にあって目立ちにくい、街道沿いで車のお客を呼び込みたい。そういう場合にぜひ活用したいのが「のぼり」です。風にはためくのぼり旗は、遠くからでも目にとまりやすい。だからこそ、お店の存在をアピールし、お店の前へとお客様を導くためにも、人を惹きつけるのぼり作成のポイントをしっかり押さえて、集客効果を高めたいものです。ここでは、のぼりの効果的なデザインと配置について説明します。ポイントを理解したら、実際の作成ステップを見ながら、のぼりづくりにチャレンジしてみましょう。

## ！ ヒント

### のぼり作成のポイント

のぼりを作成する際には、次の5つの要素を決めておきましょう。

#### ① 訴求ポイント

道行く人に「業態」や「店の売り」をひと目で伝えるためにも、情報量は絞ります。業態をアピールするのか、商品をアピールするのか、あらかじめ考えておきましょう。

#### ② デザインの方向性

訴求ポイントにあわせて、デザインの方向性を決めます。業態そのものや金額をお客様に訴えたい場合は、たとえば「○○クリーニング ワイシャツ1枚100円」のように、大きく文字のみを入れます。商品がセールスポイントの場合は、商品の写真と文字の両方を入れるといいでしょう。アイキャッチ効果を高めるためにも、のぼりは色使いが重要で、のぼりを設置する店舗の外観や周りの風景に馴染まない色を選びましょう。

#### ③ デザイン素材

使用する写真やイラストなどを留意します。商品写真だけでなく、たとえば「秋なら紅葉」「春は桜」のように、写真やイラストで季節感を演出するのもオススメです。

#### ④ レイアウト

20～30m手前からでもひと目でわかるように、写真や文字はシンプルに大きく配置します。商品の写真は、迫力があるように、写真の一部が切れるくらい大胆に配置するのもいいでしょう。

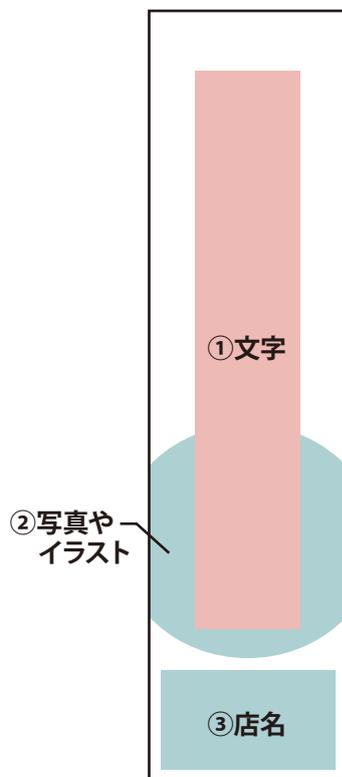
#### ⑤ 印刷

耐久性に優れたポンジクロスに印刷します。



## インパクトを強くする「のぼりづくり」のノウハウ

作成する前に、通行人の動線を考えて、道路の反対側や近くの横断歩道などに立って、どれくらいの文字の大きさなら読めるのかを、あらかじめイメージしておきましょう。近くに同業他社があった場合、その店舗との差別化も考えてデザインします。のぼりは、同じデザインのを連続して数多く配置した方が、訴求力が高まります。風で揺れる動きによって人の目をひくので、目立たせたい一心で旗を固定してしまうと、かえって逆効果です。



### のぼりデザインの基本フォーマット

#### ①文字

訴求ポイントを端的に伝えるもの。シンプルに大きく配置します。文字色は、遠くから見ても読めるよう、地の色とのコントラストの高い色(地の色が濃ければ文字色は薄めに、地の色が淡い色なら文字色は濃い目)を選びましょう。

#### ②写真やイラスト

商品がセールスポイントの場合には、商品の写真を入れるとインパクトが強まります。写真やイラストは、見た人が“思わず足を止めたくなる”目を惹くもの、美しいものを選びましょう。

#### ③店名

催事場や売り場コーナーなどで使用する場合は、店名は入れなくてもよいですが、店から少し離れた場所や道路沿いに設置するなら、「誰が」発信しているメッセージなのかを伝えるために、店名は入れておきましょう。

### 作成見本



のぼりも一つの情報です。同じ情報を何度も見ていると、自ずと新鮮さは失われてしまいます。少なくとも季節ごとに、さらには、イベントにあわせて新しいのぼりを用意したいものです。内製すれば、好きなタイミングで必要な数だけ、低コストに作る事ができ、作成したのぼりのデータは、次の年ののぼりづくりの参考にもなります。

# 訴求効果の高いオリジナルの「のぼり」を作ってみよう!

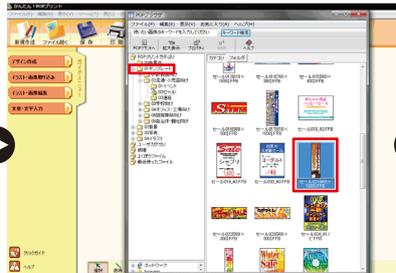
「かんたん!POPプリント Standard Edition2」を使えば、初心者でも簡単にのぼりを作ることができます。1,833点のテンプレート・写真・イラスト・背景素材が収録されているので、のぼり作りが初めての人も安心。ナビゲーションに従って進めるだけで、プロなみの本格的なのぼりが作成できます。

## 使用ソフト:かんたん!POPプリント Standard Edition2

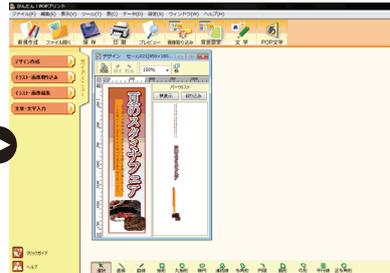
### Step1:素材を選ぶ



「かんたん!POPプリント」を起動して、[素材を選択する]をクリックする。



[POPブラウザ]画面の[01テンプレート]から使用したいテンプレートを選び、ダブルクリック。



[デザイン]画面が開き、選択したテンプレートが表示される。この画面で、背景や文字、写真をレイアウトしていく。

### Step2:背景を決める



かんたんツールバーの[背景設定]をクリックし、色やテクスチャを選ぶことができる。今回は、テンプレートの背景をそのまま使用する。

#### ワンポイントアドバイス

背景色が変わると、のぼりの印象はこんなに違う!

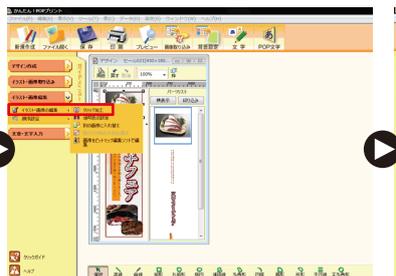
「色」が見る人に与えるインパクトは強く、配色によってデザインの雰囲気は大きく変わります。特に、背景は面積も広いので、色使いが重要となります。表現したいデザインイメージや季節にあわせて、背景色を選ぶのはもちろん、文字色とのコントラストにも留意して背景色を決めるのがポイントです。



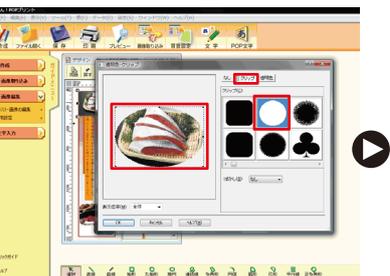
### Step3:画像を選ぶ



かんたんツールバーの[画像取り込み]をクリック。[POPブラウザ]画面の[03写真]から画像を選び、ダブルクリック。



[デザイン]画面左のガイドメニューから[イラスト・画像の編集]にある[クリップ加工]をクリック。



[透過色・クリップ]画面の[クリップ]から好きな形状を選び、画像がその形に切り抜かれる。



[透過色・クリップ]画面で、画像の四隅にマウスをあわせ、上下・左右の切り抜き位置を調整し、[OK]をクリック。



[デザイン]画面に戻る。

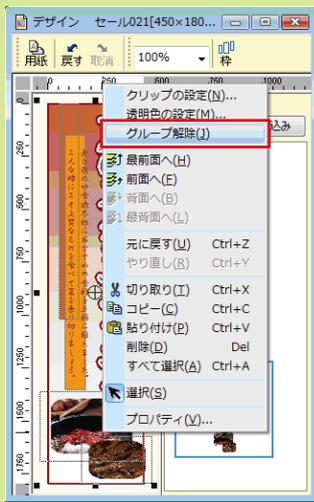


その他の画像も同様に配置し、[デザイン]画面で画像の大きさや位置を調整する。

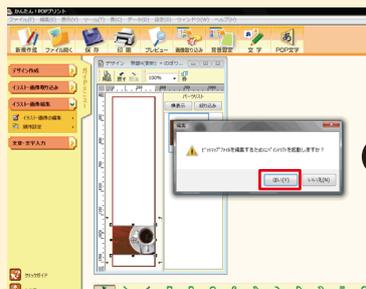
## ワンポイントアドバイス

### グループ化・グループ解除で ラクラク操作!

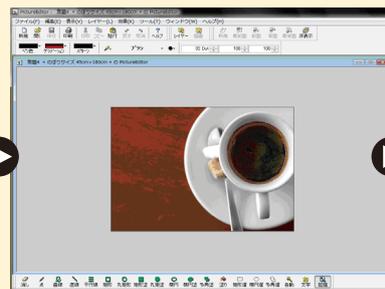
複数の画像や文字と一緒に移動させたい場合などには、それらをすべて選択し、右クリックで「グループ化」をしておくと便利です。また、グループを解除したい場合には、同様に「グループ解除」を選びます。



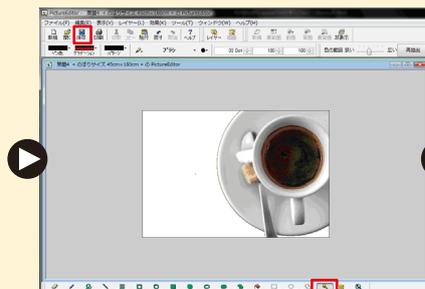
## 画像を切り抜くには



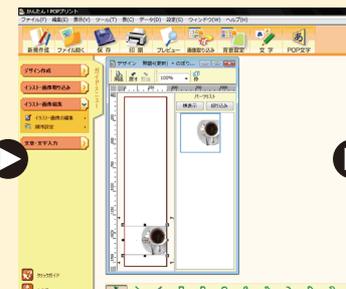
[デザイン]画面上で、画像をダブルクリック。[編集]ウィンドウで[はい]を選び、ペイントソフトを起動。



「PictureEditor」が起動する。このソフトでは、画像の切り抜きのほか、色味や逆光補正など、細かな画像調整ができる。

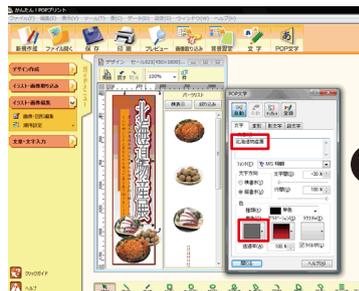


画面下部から[自動]ツールを選択。写真の中で削除したい部分をクリックして選択し、「Delete」キーで消す。「保存」ボタンをクリック。



「PictureEditor」を閉じると、[デザイン]画面に、切り抜かれた画像が表示される。

## Step4: 書体を選び、文字を入力する



[デザイン]画面上で、内容を変更したい文字をダブルクリックし、[POP文字]画面で、文字を入力する。「単色」の■をクリック。



カラーパレットが表示されるので、使用したい色をクリックする。



あとは、背景や文字を自由にレイアウトし、デザインを仕上げる。



[袋文字]タブをクリックし、袋文字のデザインや色などを変更する。



[文字]タブをクリックし、フォントや文字間を調整する。「閉じる」をクリック。



[デザイン]画面上で、文字の四隅にマウスをあわせてドラッグし、文字の幅と高さを調整する。



その他の文字も入力し、フォントや大きさ、色を適宜変更して、レイアウトを整える。

## ワンポイントアドバイス

### 多彩なフォントを収録

「かんたん!POPプリント」には、和文フォント8書体、欧文フォント60書体、数字フォント40書体が、あらかじめ収録されています。文字もデザイン素材の一つと考え、のぼりのデザインイメージにあわせてフォントを選びましょう。



## Step5: 印刷する ※以下、MAXART「PX-F8000」でボンジクロスに印刷する場合。



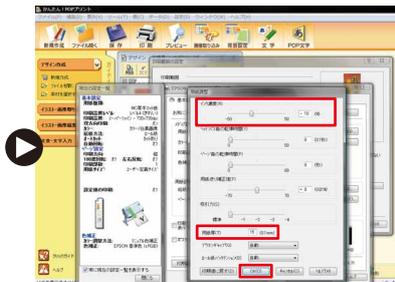
プリンター本体の操作パネルの用紙設定で、[MC厚手マット紙]を選択。



かんたんツールバーの[印刷]をクリックし、[印刷範囲の設定]画面で[プロバライ]をクリック。



[用紙種類]から[MC厚手マット紙]を、[印刷品質]から[きれい]を選択し、[用紙調整]をクリック。



[用紙調整]画面で、[インク濃度]を[-10%]に、[用紙厚]を[15mm]に設定し、[OK]をクリック。



[印刷範囲の設定]画面で[印刷プレビュー]を確認し、[印刷]をクリックすると、作成したのぼりがMAXARTから印刷される。

**MAXARTのぼり作成セットモデル「PX-F8N0B」でボンジクロスに印刷する場合、「プリンター本体」と「プリンタードライバー」で以下の設定を行ってください。**

- 【プリンター本体】 ■用紙種類:MC厚手マット紙**  
**【プリンタードライバー】**
- 用紙種類: MC厚手マット紙(マットブラック使用)
  - インク濃度:-10% ■用紙厚:15mm
  - きれいモード推奨

## Step6: クロスメディアカッターでカットする



カットする。クロスメディアカッターを使えば溶融加工を施しながらヒートカットできるので切断面がほつれない。

## Step7: チチテープを貼る



のぼり旗にチチテープを貼る。チチテープには両面テープがあるので、簡単に貼り付けられる。

## Step8: 竿に設置する



完成したのぼり旗を竿(のぼりポール)に取り付け、台(スタンド)に固定する。

## Step9: オリジナルのぼりが完成



今回は、あらかじめ収録されているテンプレートを使用しましたが、のぼりサイズを選択し、背景や画像、文字を自由に選択・配置して、オリジナルデザインののぼりを作成することもできます。誰でも簡単に使える画像編集機能も搭載しているので、画像を切り抜いて使用したり、デジタルカメラで撮影した商品写真を取り込んだりすれば、より訴求効果の高いものが作成できるはず。のぼりづくりは、思っている以上に手軽に短時間でできるので、まずは気軽にチャレンジし、集客アップを目指しましょう。



## かんたん!POPプリント Standard Edition2

EPSPOPSE2  
¥49,800 (標準価格/税別)

<http://www.epson.jp/products/maxart/software/popprint.htm>

## まとめ! オリジナルのぼりづくりの極意

### 1. 訴求ポイントやデザインの方向性を明確にする

業態・商品・イベントなど「何をアピールするもの」なのか、遠くからでもひと目でわかるよう、のぼりは一点訴求が原則です。また、「文字のみで業態を伝える」のか、「写真入りで商品の魅力を伝える」のか、デザインの方向性もあらかじめ考えておきましょう。

### 2. 文字や写真、イラストは大きく使う

「動き」で人目を惹くというのぼりの特徴を踏まえ、文字や写真、イラストは大きく配置しましょう。写真は、その一部が切れるくらい大きく配置したり、商品写真だけを切り抜いて使用したりすると、よりインパクトが強まります。

### 3. ぱっと目を引く書体を上手に活用

書体もデザインの一つです。特にのぼりは、訴求ポイントを文字で端的に伝えなければならないもの。業態・商品名・イベント名など目立たせたい部分には、ぱっと目を惹く書体を選びましょう。

### 4. のぼりは、色使いが重要!

道行く人や、車で近くを通る人の目に留まるように、のぼりを設置する店舗の外観や周りの風景に馴染まない色を選ぶのがポイントです。背景色と文字色はコントラストの高い色を選ぶなど、遠くから見ても「ひと目で伝わる」色使いを心がけましょう。

### 5. 風に揺れる動きで、道行く人を惹きつけよう!

のぼりは、風にはたため動きによって人目を惹くものです。旗は固定せず、設置スペースにあわせて、同じデザインのもの複数本連続して設置すると、より訴求効果が高まります。のぼりを上手に活用し、「ここには何かありそう」という期待感や、気軽に入れる雰囲気演出しましょう。

## のぼり作成セットモデル PX-F8NOB

¥348,000 (標準価格/税別)

初めてでも簡単! 訴求効果の高いのぼりを誰でも手軽に作成できる!



PX-F8000



かんたん!POPプリント  
Standard Edition2



のぼり作成キット



ボンジクロス1本

### 製品のご購入に関するお問い合わせ

エプソンプリンター購入ガイドインフォメーション  
TEL:050-3155-8100 (KDDI光ダイレクト) 受付時間:9:00~17:30/月~金曜日(祝日・指定休業日を除く)  
<http://www.epson.jp/support/maxart/info.htm#guide>